報道関係者各位

2012 年 3 月 15 日
森ビル株式会社

本業のほかに社会活動を行う「パラレルキャリア」持つ人材を多数輩出
現状に飽き足らない「志」持つ社会人が学ぶ場
「日本元気塾」第3期 2012 年 5 月開講

森ビル株式会社が運営する社会人向け教育機関「アカデミーヒルズ」（理事長 竹中 平蔵）は、2012 年 5 月より「日本元気塾（にっぽんげんきじゅく）第３期」を開講します。

「日本元気塾」は、「そもそも人間一人ひとりが元気でなければ、国が元気なわけがない」との米倉誠一郎塾長の想いに共感する、髙島郁夫氏、藤巻幸大氏、奥山清行氏が講師となり「人間が人間に熱い想いを伝える」日本古来の「塾」形式で 2009 年と 2010 年の 2 度にわたり開講しました。塾生は様々な課題や活動を通じて講師の「生き様」や「仕事の姿勢」を学び、「実現力」「行動力」を身につけ、これから自分が「本当にやりたいこと」の種を見つけ巣立ちました。現在も卒塾生を中心に開講中に培った実現力やつながりを使って種を育て、形になったプロジェクトが複数進行中です。※卒塾生の活動は P.3～P.5 をご参照ください。

現状に飽き足らない「志」のある人材が集まる「私塾」の設立相次ぐ

近年、早稲田大学の「大隈塾」、慶應義塾大学の「福沢諭吉記念文明塾」など、大学内で志望者が集い、少数先鋭で運営する「私塾」設立の動きが盛んになっています。私塾が目指すのは**「社会のリーダー」「能動的にチャレンジできる」「志を持つ」人材の育成**。アカデミーヒルズにおいても**志を持つ熱い社会人を対象**に 2009 年から「日本元気塾」を開講し、会社での現状に飽き足らない社会人が学びを通じて、新しい一歩を踏み出すための場を提供しています。卒塾生は既存の事業の発展や、会社を辞めて起業をするほか、仕事を続けながら**終業後や休日に別の社会活動を行う「パラレルキャリア」をもつ人も多い**のが特徴です。

【アカデミーヒルズ　日本元気塾第３期　実施概要】

■塾長	米倉　誠一郎（一橋大学イノベーション研究センター長・教授）
■講師	髙島　郁夫（株式会社バルス 代表取締役社長）
	藤巻　幸大（株式会社シカタ 代表取締役プロデューサー）
	奥山　清行（KEN OKUYAMA DESIGN 代表）
	※講師はそれぞれ米倉塾、髙島塾、藤巻塾、奥山塾を開講。塾生は 1 つの塾を選択します。
■期間	8 ヶ月（2012 年 5 月～2012 年 12 月）計 20 時間のセッション
■会場	アカデミーヒルズ（東京都港区六本木 6-10-1 六本木ヒルズ森タワー49 階）
■定員	各塾 25 名程度
■受講料	210,000 円（税込み）
■お申込	Web にて受付　http://www.academyhills.com　4 月 19 日（木）締め切り

※塾長並びに各講師、卒塾生にインタビューいただけます。（講師紹介 P.2、卒塾生 P3 参照）
※プレセミナー、入塾希望者相談会の様子もご取材いただけます。（P.6 参照）

【日本元気塾とは】

2009 年 6 月に第1期を開講。知識には言葉にできる「形式知」と、言葉にできない「暗黙知」がありますが、日本元気塾は「暗黙知」、つまり日本を元気にするという想いや志を、髙島郁夫、藤巻幸夫、奥山清行、そして米倉誠一郎という「熱い」「本気の」講師陣とともに学び・行動することによって共有しようという、8 ヶ月にわたるプログラムです。自分自身を変革する、フロンティアを切り拓く、そのような気持ちに火をつけ、一歩を踏み出す勇気と実行力のある個人を追求していきたいと思います。

◆米倉塾◆

テーマ：創発的イノベーションの実践
対象：イノベーションを学びたい人、ソーシャルビジネスに携わりたい人
講師：米倉 誠一郎（日本元気塾塾長/一橋大学イノベーション研究センター長・教授）

人類の歴史は、イノベーションの歴史。絶えざる想像力と創造力がイノベーションを生み、世界は創られてきました。本塾では、理論と実践の両輪からアプローチし、イノベーティブな発想と行動力を学びます。具体的には、座学、イノベーションを遂行した企業や団体の事例研究、経営者や社会企業家を前にプレゼンテーションや議論、実際現場に赴くフィールドワーク、自己探求プログラムによる個の原点探索を行ないます。

◆髙島塾◆

テーマ：今だからこそ、起業する ～自分を信じ世界に負けない経営を考える～
対象：起業を目指す人、すでに起業をしている人など経営視点を持つ人
講師：髙島　郁夫（株式会社バルス　代表取締役社長）

大きな変革を前に、日本が根本的な在り様を問われています。そんな今だからこそ、起業する又とない機会でもあります。起業家とは、問題の本質を捉えて解決する手立てを考え、必要なリスクを取って実行し、結果を出すことで世の中にその仕事を評価される存在です。何をしたいのかを自分自身で見極め、単に考え議論するだけではなく、実行へ踏み出す。真剣に起業したいという人とともに、生きたケーススタディ（現在進行形の課題を分析、解決する）を、しっかり作っていきたいと考えています。

◆藤巻塾◆

テーマ：超思考能力を生む“突破力・行動力・現場力”
対象：人を巻き込み新しいムーブメントを起こす「プロデューサー」を目指す人
講師：藤巻　幸大（株式会社シカタ　代表取締役プロデューサー）

藤巻塾では、事を成すのに必要な「突破力」「行動力」「現場力」という３つの力を鍛えることにより、自らの手で実現へと導く“超思考能力”を学びます。
地域活性やライフスタイル分野でモノ・コト・ヒトを繋ぎ新しい価値を生み出す「プロデューサー感覚に富んだゲスト」を招き、それぞれの“力”を学びます。また、私が常に心に留めている『論語』などの東洋思想を通じ、人を喜ばせる仕事はどんなことなのか、誰のために仕事をしているのか、自分の立ち位置を確認し、自身の考えを見つめなおす“内なる変革”にも取り組みます。

◆奥山塾◆

テーマ：「ものづくり」の精神に学ぶ　～内を見極め外に発信する価値づくり～
対象：モノづくりに携わる人、高い品質のモノを作り上げる
チーム・組織のリーダーを目指す人
講師：奥山　清行（KEN OKUYAMA DESIGN 代表）

今、日本に必要なことは、言葉を信じて、議論をすること。ものづくりの精神は、徹底的な議論抜きには語れません。信念をもって議論し尽くした先にのみ、最高の価値が生まれます。それが世界のスタンダードなのです。

この講座を通して、「議論力」「信念力」「実現力」という３つの力を養います。ここでは異なる視点を得て、思考を耕すために、私やゲストに加え、塾生にも徹底的に議論をしてもらう。議論を通して、個の力を強い団体力へと高めるチャレンジをします。

日本元気塾での学びを通じて「新しい一歩」を踏み出した卒塾生の今

日本元気塾での学びをステップに、新しいキャリアを目指した人、事業の拡大をした人、本業とは別の「パラレルキャリア」を始めた人、さまざまな分野で活動する卒塾生をご紹介します。

「日本元気塾は、自分にイノベーションを起こしたい人にぴったりの場」
外資系金融から中国女性専用マーケティング会社経営へ転身

沖野真紀氏(30 代／リブラ株式会社)

日本元気塾受講当時はゴールドマン・サックスに在籍していましたが、現在、中国女性消費者専門のマーケティング会社を経営しています。中国市場をめざす日本の化粧品会社や製薬会社などをクライアントに、中国で美容商品を売る為のマーケティングを提供しています。

少子高齢化で縮小する日本のマーケット。日本がもう一度経済大国として輝くためには、拡大するアジアの成長を取り込むことが必須と考え、それを実現するビジネスをしたいという志を持ったことが全ての始まりでした。退路を断つために当時勤務していた会社を辞め、中国マーケットを相手にするのなら中国語が出来なければ話にならないと思い、まずは北京大学に留学をしました。今はマーケティング業も軌道にのり、中国での美容ビジネス立ち上げに向けての準備も進行中と、忙殺される日々ですが、サラリーマンだった時とは比べようもないくらい充実した毎日を送っています。

日本元気塾では、いろいろな人との出会いがありそれが大きな刺激になりました。漠然とあった、“新しいことを始めたい”という気持ちが、“何もしなければこのまま終わる”という焦りに変わったのは、この外からの刺激によるものだと感じています。日本元気塾は、自分にイノベーションを起こしたい人にぴったりの塾です。自ら学ぼうとしなければ何も学べませんし、自ら行動に出なければ何も変わりません。そういう意味で、日本元気塾は、イノベーターを志す人にとっては、稀にして最高の塾だと思います。

「日本流の洗練されたノウハウ発信すれば、十分海外でもビジネスが出来る可能性がある」
地元岩手のために、経営する事業の発展を通じてできることを模索中

印部孝輔氏（30 代／株式会社サンクスジャパン役員）

当社はフランチャイズビジネスを中心に活動している会社です。いつも、今の会社には元気がない、従業員が仕事に対して情熱を持って取り組めていないと入社以来問題として考えていた中で、偶然出会ったのが日本元気塾でした。塾では素晴らしい「志」を持った講師及び仲間と共に学べた事が最大の収穫でした。また、近代以降における「イノベーション」を学ぶことで、生活関連のサービス業でありモノを作っているわけではない当社も、日本流の洗練された「仕組み＆ノウハウ」を商品として発信すれば十分海外でもビジネスが出来る可能性があることなど、まさしく日本の中小企業が元気の出ることを学ぶことができました。

塾活動を通して始めた事の一つに、元気塾セミナーのゲスト国際ＮＧＯ「コペルニク」が紹介したソーラーランタンの販売開始があります。この商品、元々は途上国支援のために作られた製品ですが、東日本大震災が起こり、予想以上の反響を呼んでいます。私も含めて、日本人全体の生き方が変化したのは間違いありません。特に被災３県の消費者の思考は驚くほど変化しました。まだまだ傷の癒えない地元岩手県の人たちに何かできることはないか？企業として個人として、もっともっと具体的事例を増やしていきたいです。

「今日本に必要なのは空気なんか読まず、自分の頭で考える人」
塾生有志が集い「子供のためのジャズコンサート」を六本木ヒルズで開催

蛭間芳樹氏(20 代／日本政策投資銀行　環境・CSR 部　防災格付主幹/Risk Management Specialist
東京大学生産技術研究所　都市基盤安全工学国際研究センター　協力研究員
Global Risks 2012, Seventh Edition Partners, World Economic Forum（ダボス会議 2012）
ホームレスワールドカップ日本代表「野武士ジャパン」ヘッドコーチ
NPO 法人「Kids Fun」（設立申請中）副理事長）

平成 21 年文化庁主催の「本物の舞台芸術体験事業」で、日本のジャズ界を代表するベーシスト古野光昭が率いるドリームチームである「フルノーツ」と、世界的に活躍するジャズバイオリニスト寺井尚子による夢の競演が実現し、全国各地の小中学校 18 校でコンサートが実施されました。これに感動した日本元気塾　米倉塾の塾生有志が「子どものためのジャズコンサート」実行委員会として集まり、学校の枠を超えた取り組みに発展させるべく企画、協力し、2010 年と 2011 年に六本木ヒルズアリーナでコンサートを行いました。

いま日本では、いわゆる受験エリートで培われる思考様式や能力とは異なる能力や知性が必要であると考えます。それは、「自分の頭で考え、周囲に流されず、自分の信念や志を目指して突き抜ける」能力を持つ人材です。自分に動機付けを与えられるのは自分しかいない、と私は思いますし、空気なんか読んでいたら絶対駄目です。自分自身のストーリーを創らなければ、他の誰かの計画に組み込まれるしかない。このことに早く気がついてもらうためには、本物・プロに接触することだと考え、そのための場を作りたいと考えました。私もこの取り組みに共感し、実行委員会メンバーとして参加しましたが、今後さらに継続的に開催するために「NPO 法人 Kids Fun（理事長：米倉誠一郎一橋大学教授予定）」を立ち上げ、副理事長として活動する準備を進めています。

「ただ受講するのではなく、講師をくまなく観察し動いてみることが一番大切」
藤巻流「巻き込み術」で佐竹商店街活性化イベント「モノマチ」を開催

小倉佑介氏（30 代／学校法人芝浦工業大学職員）

私の実家の近く、台東区南部には「佐竹商店街」という日本で 2 番目に古い商店街があります。この商店街はかつてアメ横と同じくらい栄えていた時期がありましたが、今はあまり元気がありません。日本元気塾在籍中、元気な商店街の姿を取り戻したいと考えていたところ、台東デザイナーズビレッジの鈴木村長と出会い、モノづくりがさかんな地域特性を生かした台東区南部全体を巻き込む大イベント「モノマチ(モノづくりのマチづくり)」を 2011 年 5 月と 11 月の 2 度開催し、世間の注目を集めています。

藤巻塾では、「実行力・行動力」と「巻き込み術」を学びました。日本元気塾では、ただ講義を受けているだけでは全く意味がありません。私は可能な限り藤巻さんを観察し、どのように行動し、人を巻き込むのかを見習い、実行に移すことを意識していました。「モノマチ」を成功させることができたのも日本元気塾と藤巻さんから学んだ「自らが動く」を継続的に実行できたからだと思います。自らが動くと人もついてきて、結果も必ずあとからついてきます。自分の職場である大学の学生もモノマチに呼んで生のモノづくりを見てもらうことができました。実行することの大切さは学生へ伝わったと思います。

卒塾生 4 名が世界に「メイドインジャパン」を売る活動開始

藤巻塾の卒塾生 4 名が「日本の良さを世界に伝える」を事業ミッションに、世界最大級のショッピングモール ebay や EC サイトを通じて伝統工芸品を海外に販売する「任意団体まちづくり GIFT」を立ち上げました。目指すのは外国から日本の伝統工芸を活性化し、地域の活性化を通じて日本を元気にすること。金沢の伝統工芸品九谷焼と若手デザイナーがコラボレーションした「九谷焼スカル」や京都の職人が作る万年筆などをインターネットやソーシャルメディアを活用し、海外に積極的にプロモーションされています。年内には香港で法人設立予定など、活発に事業を進められる齋藤さんと久保田さんにお話を伺いました。

「事業を遂行するためには、同じ志を持つ仲間が一番大切」

齋藤潤一（30 代／まちづくり GIFT 代表理事）

藤巻塾在籍時は、会社の役員をやりながら「GIFT」のプロジェクトを行なっておりましたが、中途半端になるため、GIFT の事業一本に絞りました。また地方の方とお話をする過程で、地方の目線から世界へ情報発信していく必要性を感じ、2011 年 10 月に宮崎に I ターンをしました。現在では、地方、東京、海外と 3 分の 1 くらいの割合で住んでいます。

藤巻塾で学んだ最大のものは、事業を遂行するためには、同じ志を持つ仲間が一番大切であるという事です。スキルや経験ももちろん大切ですが、自分一人の力では限界があります。誰も成し遂げた事がない見えない世界を見に行くためには、同じ船にのって、それぞれの専門分野を活かして、役割分担をしながら、オールを漕いでいく必要があります。

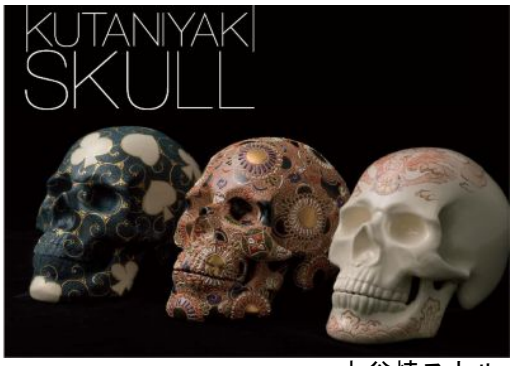
塾の中で学んだ事を、塾の後に行動をすることで、さらに学びを深める事ができました。スキルやテクニックではなく、自分はなぜ存在するのか？どのようにして社会と共存するのか？自分と向き合える時間をもてたのが良かったです。日本元気塾は、文字通り日本を元気にしたい志を持つ仲間が集まる場所ですから、切磋琢磨する仲間を探すには、最高の場所だと思います。

「想いや問題意識は実際の行動に結び付けられるし、形になる」

久保田　利恵子（30 代／研究所職員）

「日本の良さを世界に伝える」という強い動機と日本の地域を元気にすることによって日本を元気にするにはどうしたらよいか、という問題意識から「GIFT」の活動を立ち上げました。私たちは日本の中でも受け継がれてきた伝統や文化を守ることを使命にものづくりを続ける職人さんや企業の海外進出をお手伝いすることで雇用を守る、もしくは増やし日本を元気にできると考えています。

日本元気塾で学んだ最大のものは、想いや問題意識は実際の行動に結び付けられるし、形になるということです。ただ、独りでできることは限られていますが、志を同じにする仲間を藤巻塾で見つけることができました。集まっている藤巻塾の仲間 4 人はそれぞれ違ったバックグラウンドと本業で培った「GIFT(能力)」を持ち寄り、ウェブサイトの立ち上げ、海外進出、ビジネスモデル構築、EC サイト運営などをしています。本業を抱えながらだと時間の制限など、なかなか GIFT の活動に十分な時間が割けずもどかしい時もありますが、本業で得た知識や経験は GIFT の活動を続けるのにも欠かせないと思います。



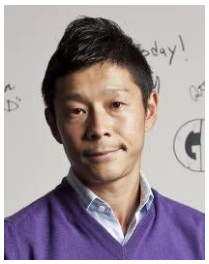
九谷焼スカル

【日本元気塾プレセミナー】

「日本元気塾プレセミナー」は日本元気塾開講に先駆け業界に変革をもたらし、新しい可能性に挑戦するゲストを迎えて開催するセミナーです。

当日参加および開催の様子をご取材いただくことも可能です。ご希望の方はご連絡ください。

■日本元気塾セミナー:時代の気分を読む～業界の常識を覆す“突破力・行動力・現場力”～


前澤友作氏

日時：2012 年 03 月 29 日（木） 19:00～21:00
ゲストスピーカー：前澤　友作（株式会社スタートトゥデイ 代表取締役）
モデレーター：藤巻　幸大（株式会社シカタ代表取締役プロデューサー）
内容：「ZOZOTOWN」を運営する前澤氏と、リアルな売り場、ブランドを生み出し続けるプロデューサー藤巻氏。「できるはずがない」と言われる逆境の中で、自らの突破力・行動力・現場力を武器に、新ビジネスを切り開いてきた 2 人に共通する、時代の先を読み顧客の心を掴む「売る力」と、売る側の論理だけではなく顧客の「買う力」を信じ、巻き込むコミュニケーションの秘訣を探ります。

■日本元気塾セミナー:「壊す勇気、創る勇気」

日時：2012 年 4 月 12 日（木） 19:00～21:00
講師：米倉　誠一郎（一橋大学イノベーション研究センター長・教授）
髙島　郁夫（株式会社バルス代表取締役社長）
藤巻　幸大（株式会社シカタ代表取締役プロデューサー）
奥山　清行（KEN OKUYAMA DESIGN 代表）
内容：イノベーション研究の第一人者で行動する学者・米倉誠一郎。インテリアショップ「フランフラン」を世界展開する経営者、髙島郁夫。突破力と行動力で日本の良さを発信し続けるプロデューサー、藤巻幸大。フェラーリ等を手がけ、伝統技術を生かすものづくりを実践する工業デザイナー：奥山清行。本講演は、2012 年 5 月から日本元気塾第 3 期に臨む 4 人の講師が「ニッポンを元気にする」ためにどうすればいいか、本気で語り合う 2 時間のパネルトークセッションです。

【アカデミーヒルズ　http://www.academyhills.com】

森ビルは「世界的文化都心の創造」をビジョンに、街づくりに「都市を創る（ハード面）」と「都市を育む（ソフト面）」の両面から取り組んでいます。「都市を育む」取り組みの一つとして、森ビルが運営するアカデミーヒルズ（理事長　竹中平蔵　慶應義塾大学教授）は“自律的に自立する個人の支援”をミッションに、「Roppongi BIZ」「アーテリジェントスクール」などを運営する「スクール事業」、会員制図書館を運営する「ライブラリー事業」、貸しホール・貸会議室を運営する「フォーラム事業」の 3 つの機能を軸に、都市生活者に対して「知的活動の場」と「教育の機会」を提供しております。

【ご取材のお申込】
森ビル株式会社広報室　深町　TEL :03-6406-6606　FAX： 03-6406-9306
住所：　東京都港区六本木 6 丁目 10 番 1 号　六本木ヒルズ森タワー49 階
E-mail：fukamachi@mori.co.jp